

## 第2章 情報企画室図書担当

### 【構成員】

担当教授(兼): 正橋 直哉

図書係長: 堀野 正太 / 図書系職員: 池 美沙子 / 事務補佐員: [3 名]

---

### 【図書整備委員会】

委員長 准教授: 野村 健太郎

委員 准教授: 今宿 晋

助教: 原田 尚之, 鈴木 謙介, 出浦 桃子, 窪谷 茂幸, 高坂 亘, 野澤 純, 佐藤 豊人

オブザーバー 教授: 正橋 直哉

総務課長: 石井 俊明

### 1. はじめに

図書室は、19 世紀から今日までの材料科学に関する幅広い領域の資料を収集・所蔵し、充実した専門資料をもとに、所内・学内はもとより国内外の研究者に幅広いサービスを提供している。

### 2. 組織・運営

図書室は情報企画室のもと、図書整備委員会とも連携して運営され、また事務部総務課に図書係として属し、係長を含む職員 2 名と事務補佐員 3 名の体制で業務を行っている。

図書整備委員会は所内若手教員 9 名で構成され、研究者の視点から、図書室へ助言を行うとともに、利用者への広報活動やオリエンテーション等の実施においても図書室に協力している。このような委員会の存在は、学内他部局にはない本所の特徴と言える。

### 3. 活動状況

#### 3.1 蔵書管理

##### ①蔵書の充実

図書整備委員および研究室からの図書の推薦や、新刊案内などを参考に、物質・材料科学研究に有意な図書を購入し、蔵書の充実を目指している。また、研究室や研究者が個別では購入しにくいシリーズ本や電子ブックなども必要に応じて購入し、2016 年度は合計 241 点の図書（電子ブック 1 点含む）を購入した。

##### ②蔵書点検

毎年 2 回、蔵書の定期点検を行い、不明図書・発見図書の確認や書架の整備を行っている。2016 年

度は8月24日～26日、2017年2月7日～9日に実施し、累積の不明図書冊数は78冊となった。図書は共有財産であることから、機会あるごとに貸出手段の徹底や返却期限の厳守を呼びかけていきたい。

### 3.2 利用者サービスの充実

#### ①利用者向け講習会

- ・図書室オリエンテーション(2016年4月25日(月)開催、35名参加)

毎年春に金研の新構成員のため、図書整備委員を講師とした主要データベースの講習と、図書室利用案内を組み合わせたオリエンテーションを行っている。

取り上げたデータベース) Alloy Phase Diagrams、CiNii、ICDD、ICSD、Int. Tables for Crystallography、J-PlatPat、KAKEN、Phase Equilibria Diagrams、SciFinder、Scopus、Web of Science

- ・英語論文執筆ワークショップ(2016年11月11日(金)開催、39名参加)

本所若手研究者(主に助教、PD、DC)を対象に、英語論文の採用率向上のためのスキル等を学ぶ、外部講師による実習をまじえた講習会を実施し、参加者全員から好評を得た。

講師) Dr. Andrew Jackson: Senior Editor, Edanz Group Japan

Ms. Ayli Chong: Copy Editor, 同上

内容) Planning for academic publishing, Effective writing, Overview of manuscript structure, Cover letters, Promoting your research after publication

#### ②『情報検索の手引き』の刊行(2017年3月31日220部発行)

図書整備委員会と図書室は、研究活動に有用なデータベース等の利用マニュアル『情報検索の手引き』(以下手引き)を2017年3月に刊行した。1997年の1版以降隔年で改訂し最新版は10版である。

『手引き』は各研究室や前述のオリエンテーション参加者、および希望者に配布する。また、電子版を図書室ホームページ上において所内限定で公開している。



『情報検索の手引き』  
2017-2018年度版

#### ③「金研図書室だより」の発行(No.18:2016年4月7日発行、No.19:10月31日発行)

図書室の最新情報の広報と認知度の向上のため、「金研図書室だより」を発行し所内に配布した。

### 3.3 利用環境・施設の整備

#### ①設備の更新・改善

照明の老朽化への対応として、前年度に引き続きLED化を進めた。2016年度は閲覧室(2号館221号室)照明の更新を終え、書庫(2号館218号室)の一部照明の更新も行った。また、冷暖房の効率化と資料保護のため、閲覧室窓ガラスに熱と紫外線をカットするフィルムの貼付工事を実施した。

#### ②書庫狭隘化への対策

今後利用の見込まれない重複図書約2,280冊を処分した。また農学部青葉山移転に伴い新設された青葉山コモンズ内の全学共用書庫へ、主に電子ジャーナルで代替可能な雑誌等3,549冊を移動した。2017年度以降はこの処分や移動により余裕のできた書庫の整理を行い、今後の蔵書の充実に備える。

## 4. 今後の課題・懸案等

### 4.1 不明図書への対策

貸出手続きをせず持ち出される図書が常に一定数あるため、蔵書点検（3.1②）終了の都度、教授会において図書担当教授より注意喚起を行った。新たに不明となる図書が増加し続ける場合にはさらなる対策が必要となる。

### 4.2 設備の老朽化

空調機器は1994年に図書室が現在の場所へ移転した当時から使用しているため老朽化が進んでいる。年に数度ある故障へは修理で対応しているが20年以上を経過した機器のため部品の入手が難しくなりつつあり、いずれ機器の更新をしなければならない。

### 4.3 電子ジャーナル費用

購読タイトル削減や出版社との交渉等の全学的な努力にもかかわらず、本学全体の電子ジャーナル経費は増え続けている。円高により価格上昇が落ち着くこともあるが高止まりのままであり、依然として予断を許さない状況が続いている。

## 5. 統計（2016年度）

### ■施設

総面積	書架総延長	図書収容能力	総閲覧座席数	パソコン台数	複写機台数
534 m <sup>2</sup>	2.39km	6.6万冊	50席	6台	4台

### ■資料

		和書	洋書	合計
蔵書	蔵書冊数	18,856冊	63,269冊	82,125冊
	年間受入冊数	85冊	211冊	296冊
雑誌	雑誌種類数	457種	1034種	1,491種
	年間受入雑誌種類数	145種	131種	276種
	電子ジャーナル数(全学)	585種	13,362種	13,947種
新聞種類数		6種	1種	7種

\*蔵書は研究室貸出分や製本雑誌を含む \*受入とは：図書室の蔵書として登録すること

### ■サービス

開室日数 (有人)	サービス対象		入室者	貸出		文献複写		現物貸借	
	教職員	学生		貸出	(うち搬送)	依頼	発送	借用	貸出
236日	346人	200人	14,435人	3,461冊	(1,114冊)	89件	417件	6件	15件
前年度比			1,231人増	68冊増	(103冊増)	18件増	74件増	6件減	2件増

\*開室日数は有人の日数のみ